

科目名	老年看護学援助論 I Gerontological Nursing Care Assistance I		担当教員 (研究室番号)	未定 本間 昭 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
										遠隔授業	一部
科目 目的	老化による高齢者の機能の変化と生活への影響をふまえて、高齢者が持つ健康課題を身体的・精神的・社会的側面より評価指標を用いて包括的にアセスメントし、看護実践の根拠として活用する能力を養うことを目的とする。 なお本科目は、日本看護系大学協議会が定める高度実践看護師教育課程基準（専攻分野共通科目）「2. 高齢者の健康生活評価に関する科目」に相当する科目である。										
ディ プロ マ・ホ リ ン グ (DP)	主要なDP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。									
	関連する DP	2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、看護専門職としてリーダー的役割が担える指導力やマネジメント力を身につけている。									
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者総合的機能評価法および各種評価法の適用や留意点について理解することができる。</li> <li>2. 国際生活機能分類の視点から高齢者の生活機能を把握することができる。</li> <li>3. 各種評価法を用いた結果を活用し専門的看護実践につなげることができる。</li> <li>4. 老人看護専門看護師として各種評価法をどのように活用する必要があるか説明できる。</li> </ol>										
成績評価方法 (基準)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①講義に対する事前準備及びプレゼンテーション (50%)</li> <li>②講義におけるディスカッションへの参加 (50%)</li> </ol>										
教科書	なし										
参考書等	長寿科学総合研究CGAガイドライン研究班 (2003) : 高齢者総合的機能評価ガイドライン, 厚生科学研究所 障害福祉研究会 (2002) : ICF国際生活機能分類—国際障害分類改訂版一, 中央法規出版 その他、随時紹介する										
受講者への メッセージ	高齢者や家族の状況をより深く理解するために各種評価法について学習し、高度な看護実践につなげましょう。										
備考	事前準備 2-11回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する内容に関する国内外の文献から予習する。</li> <li>・1テーマ約30分間のプレゼンテーションができるよう準備し、授業にプレゼンテーション資料等を持参する。</li> </ul> 12-15回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの演習に必要な自己学習を行い、関連資料を持参する。</li> </ul>										
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション 高齢者の機能			本講義の目的・目標の概説を理解し、授業日程、学習課題の確認、課題の分担を行う。また、高齢者の機能の捉え方について学習する。				未定	対面 (講義)		
2回	高齢者総合機能評価 (CGA) の理念と方法			高齢者総合的機能評価 (CGA) の特徴と方法、臨地での活用について学習する。				未定	対面 (講義)		
3回	国際生活機能分類 (ICF) を用いた生活機能の評価			国際生活機能分類 (ICF) の特徴を理解し、高齢者の生活機能の評価について学習する。				未定	対面 (演習)		
4回	高齢者のヘルスアセスメントの特徴と方法①			呼吸・循環機能、感覚機能、防衛機能等の老性変化と、高齢者特有のフィジカルアセスメント技法について学習する。				未定	対面 (演習)		
5回	高齢者のヘルスアセスメントの特徴と方法②			栄養・排泄機能等の老性変化と、高齢者特有のフィジカルアセスメント技法について学習する。				未定	対面 (演習)		
6回	日常生活動作・行動機能の評価①			基本的ADL、手段的ADL、FIMなどの日常生活動作および行動機能評価法について学習する。				未定	対面 (演習)		
7回	日常生活動作・行動機能の評価②			学習した日常生活動作および行動機能評価法を実際の事例に適用し、臨地における有用な活用方法について学習する。				未定	対面 (演習)		
8回	認知機能の評価①			MMSE、HDS-R、CDRなど認知機能の評価法について学習する。				本間	ライブ 配信		
9回	認知機能の評価②			学習した認知機能評価法を実際の事例に適用し、臨地における有用な活用方法について学習する。				本間	ライブ 配信		
10回	心理・社会的側面および生活の質に関する評価①			主観的幸福感、QOL、生活満足度、ソーシャルサポートなどの評価法を理解し実際に活用する。				未定	対面 (演習)		
11回	心理・社会的側面および生活の質に関する評価②			学習した認知機能評価法を実際の事例に適用し、臨地における有用な活用方法について学習する。				未定	対面 (演習)		
12回	高齢者のフィジカルアセスメント技術①			シュミレーションの活用や患者・看護師役のロールプレイなどの演習を通して高齢者のフィジカルアセスメント技術を習得する。				未定	対面 (演習)		
13回	高齢者のフィジカルアセスメント技術②			シュミレーションの活用や患者・看護師役のロールプレイなどの演習を通して高齢者のフィジカルアセスメント技術を習得する。				未定	対面 (演習)		
14回	老年看護実践における評価方法の活用①			評価法を用いた高齢者の課題解決について事例をもとに検討し、老年看護実践において評価法を活用する意義について討論する。				未定	対面 (演習)		
15回	老年看護実践における評価方法の活用②			評価法を用いた高齢者の課題解決について事例をもとに検討し、老年看護実践において評価法を活用する意義について討論する。				未定	対面 (演習)		